

事例 27 里山林の広葉樹材の活用に向けた検討



(近畿中国森林管理局)

- 岡山県 新見市（にいみし）
釜谷（かまたに）国有林
- 事業者による広葉樹の集材作業の見学の様子

近畿中国森林管理局では、近年利用されずに大径化している広葉樹二次林※（里山林）に着目し、広葉樹材としての有効活用と伐採後の確実な再生を目指す「里山広葉樹林活用・再生プロジェクト」を実施しています。具体的には、約70年生のアベマキ、コナラ等広葉樹主体の林分で丸太を生産・販売し、その採算性の検証や広葉樹材の需要把握、天然更新の検証等に関係機関と連携し取り組んでいます。令和元年度には地域の森林・林業関係者を対象に現地検討会を開催し、伐木・集造材作業の実演見学や天然更新の状況確認を研究者等から解説いただきました。